

申込不要×当日参加歓迎
お気軽にご参加下さい。

第17回

発表：宮本 美能 准教授

高度教養教育・学生支援機構 グローバルラーニングセンター
専門：生涯教育、異文化間教育

留学生と日本人学生の共生

—国際共修授業で双方が言語の壁を乗り越える方策—

7月7日（火） 12:10～12:50

（40分間：発表25分、質疑応答15分）

※昼休みに持参弁当を食べながら

東北大学川内北キャンパス
川北合同研究棟 1階 108号室

正午PD (Professional Development) 会

留学生と日本人学生が共に学ぶ国際共修授業は異文化接触を通じて、異文化コミュニケーション能力を高めることが出来る場です。一方で、言語や文化等の違いから、双方の間の関係性構築にさまざまな阻害要因があることも指摘されています。これらを踏まえて、学生の多様性を生かした授業を設計し（Plan）、これを実践（Do）したところ、授業の途中で辞退する日本人学生が現れました。

本報告では、この実践を振り返り（Check）、次の年に講じた解決策を紹介します（Action）。ぜひ、皆様と留学生と日本人学生間の言語の障壁を低減するため、どのような教育的介入が必要であるのかについて、意見交換させていただきたいと思っております。

問い合わせ先：
高度教養教育・学生支援機構
学際融合教育推進センター 中川 学
E-mail：manabun@m.tohoku.ac.jp Tel：795-4474

高度教養教育・学生支援機構
Institute for Excellence in Higher Education

